十一月講習会　国語　～入試対策模試②に向けてがんばろう～

一　次の－線部の漢字に読みがなをつけ、カタカナ部分を漢字に直しなさい。

① カイガンを散歩する。　② 食べたものがショウカされる。　③ テンコウが急変する。

④ セイセキが上がる。　⑤ フクザツな気持ち。　⑥ ドウワを読んで聞かせる。

⑦ カガミを見る。　⑧ 入室をキョカする。　⑨ ツゴウが悪くなる

⑩ 城を築く。　⑪ 友達を家に招く。　⑫ 類似品が多く出回る。

⑬ 野菜の価格が高い。　⑭ 大きな規模の工事。　⑮ 大雨で河川がはんらんする。

①	⑥	⑪
②	⑦	⑫
③	⑧	⑬
④	⑨	⑭
⑤	⑩	⑮

二　次の各文の主語と述語を抜き出しなさい。ただし無い場合は×と書くこと。

① 明日の　天気予報は　予想以上の　秋晴れです。

② なんて　強いんだ、　あの　優勝した　選手は。

③ たんじょう日に　父が　克ってくれた　本は　とても　おもしろい。

④ 小さな　子どもだって　そのくらいのことは　わかる。

⑤ 公園には　大きな　犬を　連れた　人が　いた。

⑥ 今日　母と　いっしょに　東京に　出かけた。

⑦ 外国車だね、君が　乗っている　自転車は。

⑧ 今年の　冬休みは　大好きな　スノボードを　するつもりだ。

①主語	②主語	③主語	④主語	⑤主語	⑥主語	⑦主語	⑧主語
述語	述語	述語	述語	述語	述語	述語	述語

三　次の―線部はどのことばにかかっているか書き出しなさい。

① ちょうど　駅の　バス停に　バスが　待っていたので　大急ぎで　乗り込んだ。

② 急に　横に　いた　男の子が　足を　かかえて　泣き出した。

③ 明日には　きっと　強い　雨も　風も　やむだろう。

④ にこにこと　笑う　赤ちゃんの　笑顔に　だれもが　つい　笑顔になった。

⑤ 週末に　テストが　あることを　母は　まだ　知らない。

⑥ あれほど　私が　注意したのに、友人は　遊びに　出かけた。

⑦ 空に　かかった　大きな　虹が　とても　きれいだ。

⑧ もし、明日　雨が　降ったら、野球の　試合は　中止だ。

①	③	⑤	⑦
②	④	⑥	⑧

四　ー線部のことばを敬語に直すとき、適切なものを後から選んで○で囲みなさい。

① 部屋の掃除はわたしがします。（ されます　いたします　なさいます ）

② この辞書をあなたにやろう。（ くださろう　いただこう　さしあげよう ）

③ 社長さんには一度会ったことがある。（ お会いになった　会われた　お目にかかった ）

④ 山田さんの言うことをしっかりと聞く。（ おっしゃる　申し上げる　口にする ）

⑤ 先生が来たから早く席につきましょう。（ 参った　いらっしゃった　来たらしい ）

五　次の①～⑤の各文の（ ）にあてはまることばを下のア～オの中から選んで記号で答えなさい。ただし、同じ記号は二回使えません。

① （　　）うそをついてはならない。

② （　　）優勝争いをするとは思わなかった。

③ （　　）かれ木に花が咲いたようだ。

④ （　　）失敗しても、最後までやりとおす。

⑤ 試合が中止だなんて（　　）予想していなかった。

ア　たとえ　　イ　よもや　　ウ　まるで　　エ　まったく　　オ　決して

六　次のー線部のことばと同じ使い方をしているものを、後のア～オの中からひとつ選んで、記号で答えなさい。

① 公衆電話の使い方がわからない。

ア　犬の座ったざぶとんを片付ける。
イ　このペンはわたしのだ。
ウ　わたしの書いたのはこれだ。
エ　彼の行動をほめたたえた。

② 弟は一年で十センチばかり背がのびた。

ア　よく働いたから少しばかり休もう。
イ　彼ばかりほめられている。
ウ　子ネコちゃんは泣いてばかりいる。
エ　彼はいつもサッカーばかりしている。

③ 日本酒は米から作られている。

ア　友人が駅から出てきた。
イ　雨が降るから出かけるのをやめよう。
ウ　父から昨日のニュースについて聞いた。
エ　紙は木からできている。

④ あまりの痛さに声をあげて泣いた。

ア　みんなに「おはよう。」と呼びかけた。
イ　さびしさに気持ちがしずむ。
ウ　先生にがんばれとはげまされた。
エ　となりの空き地に家が建った。

①
②
③
④

七　次の四字熟語のひらがなを漢字に直し、意味をあとから選んで記号で答えなさい。

①　以心でん心　　②　完全無けつ　　③　大き晩成　　④　自きゅう自足　　⑤　空前ぜつ後

ア　必要なものを自分でまかない足りるようにすること。
イ　ほとんど助かる見込みのない命がかろうじて助かること
ウ　非常にめずらしいこと。
エ　口に出さなくても気持ちが伝わること。
オ　注意をおこたれば必ず失敗をまねくこと。
カ　欠点や不足がまったくないこと。
キ　人間がもっているさまざまな感情。
ク　大人物となる人間は、ふつうより遅く大成すること。
ケ　たくさんのものが、それぞれさまざまに違うこと。

①	意味
②	意味
③	意味
④	意味
⑤	意味

八　次の慣用句の意味を後から選んで、記号で答えなさい。

①　足が重い　　②　腕が立つ　　③　舌を巻く　　④　尻に火がつく
⑤　白を切る　　⑥　手の裏を返す　　⑦　耳が痛い　　⑧　ねこの手も借りたい
⑨　気が置けない　　⑩　胸を借りる

ア　物事が差しせまっている様子。
イ　欠点を指てきされて聞くのがつらい。
ウ　武道などにすぐれていること。
エ　気をつかわず、気楽につきあえる。
オ　わざと知らないふりをする。
カ　非常に忙しいこと。
キ　行く必要があるが、気が進まない様子。
ク　時と場合によって全く態度を変える。
ケ　力の勝った相手に積極的に挑む。
コ　あまりの見事さに感心し、おどろく様子。

①	⑥
②	⑦
③	⑧
④	⑨
⑤	⑩

長文読解の解き方

①　説明的な文章では「くり返されている話題」を考える。
②　説明的な文章では「話題」「結論」「具体例」「理由」に分ける。
③　文学的な文章手では「背景」「できごと」「心情」「性格」の四つを意識する。
④　文学的な文章では、常に「なぜ」を考える。

たとえば・・・

自分ではAだと思っていたものが、人からBともいえると指摘され、なるほど①そうもいえると教えられた経験は多いことだろう。

左の図は「②ルビンのつぼ」と題されたものである。よく見ると、この図から二種類の絵を見てとることができるはずだ。白い部分を中心に見ると、優勝カップのような形をしたつぼがくっきりと浮かび上がる。このとき、黒い部分はバックにすぎない。今度は逆に、黒い部分に注目してみる。すると、向き合っている二人の顔の影絵が見えてきて、白い部分はバックになってしまう。

この図の場合、つぼを中心に見ているときは、見えているはずの二人の顔が見えなくなり、二人の顔を中心に見ると、一瞬のうちに、目からつぼの絵が消え去ってしまう。

③このようなことは、日常生活の中でもよく経験する。今、公園の池に架かっている橋の辺りに目を向けているとしよう。すると、橋の向こうから一人の少女がやって来る。目はその少女に引きつけられる。このとき、橋や池など周辺のものは全て、単なる背景になってしまう。カメラでいえば、あっという間に、ピントが少女に合わせられてしまうのである。ところが逆に、その橋の形が珍しく、④それに注目しているときは、その上を通る人などは背景になってしまう。

見るという働きには、思いがけない一面がある。一瞬のうちに、中心に見るものを決めたり、それを変えたりすることができるのである。

＊　この文章で、くり返されている話題は「見ること」だね。

＊　指示語の問題、例示の問題を解いてみよう。

問一　「①そうもいえる」は何を指しているのか。

問二　「②ルビンのつぼ」は何を表す例だろう。

問三　「③このようなこと」は何を指しているか。

問四　「④それ」は何を指しているか。

＊　結論について

問五　「見る」について筆者が述べている結論を二文で探し、はじめの一文の五字を答えなさい。